

# 年報『非文字資料研究』執筆要項

神奈川大学非文字資料研究センター

## 1. 投稿資格

- (1) 非文字資料研究に関する研究に従事する者。
- (2) 本センターが定める標準書式に従うこと。
- (3) 査読対象原稿においては審査員の査読を経ること。

## 2. 執筆原稿

### (1) 原稿の種類

- ① 非文字資料研究に関係する下記に掲げる種類の原稿とする。
  - A 研究論文：非文字資料に関する理論的、実証的な学術論文。招待論文を含む。
  - B 研究ノート：研究の中間報告、研究上の覚書き、研究の展望など。
  - C 報告：調査・資料報告、実践報告、事例研究。特別企画の紹介記事等を含む。
  - D 翻訳・書評・資料紹介：非文字資料ならびに関連分野の論文等の翻訳・書評・資料紹介。
- ② 投稿希望者は、エントリー用紙に、上記 A～D の原稿の種類を明記すること。

### (2) 使用言語

日本語、中国語、韓国語、英語、ドイツ語、フランス語、ポルトガル語のいずれかとする。

### (3) 原稿の分量

- ① 日本語、韓国語で提出する場合は 16,000～32,000 字（400 字詰め原稿用紙 40～80 枚）、中国語の場合は、10,000～20,000 字、その他の言語の場合は 8,000～16,000 words を目安とする。原稿の分量の上限には図版類を含むものとする。
- ② 上限を超える場合は、あらかじめ本センターの編集担当者に相談すること。
- ③ 図版・写真は、全体の 30% 以内を原則とする。図版・写真の掲載箇所等の希望がある場合はそれを付記すること（「1 ページで」あるいは「半ページで」など）。
- ④ 『年報』はモノクロ印刷です。どうしてもカラーでなければ伝えられないものがある場合については、事前に編集委員会に相談すること。

### (4) タイトル

巻末掲載の英文目次のため、使用言語の如何に関わらず、タイトルには英訳をつける。

### (5) 論文要旨

投稿原稿のうち「A 研究論文」については、要旨を付す。

- ① 使用言語が日本語の場合は日本語で 800 字程度（編集委員会の責任で英文にして掲載する）。
- ② 日本語以外の場合は、英語で 400 Words 程度（編集委員が修正する場合もある）。

## 3. 原稿等の提出物

- (1) 原稿は完成原稿で提出する。なお、提出された原稿およびデータ類は原則として返却しない。
- (2) 原稿は原則として Microsoft Office Word で作成する。
- (3) 提出物についての留意事項
  - ① 原稿はデジタルファイル（メール添付、USB、CD-ROM 等）で提出すること。
  - ② インデント、タブ等の書式情報、図、表、写真の挿入希望箇所は、原稿中に赤で指示すること。

(4) 図版・表・写真

- ① 図版・写真は版下として使用できる質のものを提出すること。
- ② 図・表・写真ごとに、「図 1」、「表 1」、「写真 1」の形式で通し番号をつけ、それぞれのキャプション、説明（写真の場合は撮影者。ただし論文等執筆者の場合は不要）、および出典等を記すこと。
- (5) その他の標準書式については、別紙「表記・書式細目」を参照のこと。

4. 原稿の校正

- (1) 校正は2回（再校）を原則として執筆者の責任において行うこととし、定められた期日以内に校正刷りを返却すること。
- (2) 校正に際しては、大量の書き換え、および追加・挿入を行わないこと。

5. 著作権の扱い

- (1) 掲載資料（図版・写真・翻訳原文等を含む）が著作権にかかわる場合は、執筆者が自らの責任（費用を含む）で事前に許諾を得ること。
- (2) 掲載論文等の著作権については、下記のとおり処理するものとする。
  - ① 非文字資料研究センターの刊行物に掲載された論文・報告書等（以下、論文等という）の著作権は、執筆者に帰属する。
  - ② 執筆者は、論文等を本人の著作以外に転載する場合は、非文字資料研究センター長の許諾を得るものとし、すでに本誌に掲載されたことを明示する。
  - ③ 執筆者は、論文等の電子化および WWW 公開に伴う「複製権」と「公衆送信権」の行使を神奈川大学非文字資料研究センターに委託する。

6. 査読について

- (1) 投稿された原稿のうち、「A 研究論文」のうち招待論文および「D 翻訳・書評・資料紹介」以外の原稿は、本センター編集委員会において査読を行う。
- (2) 査読の結果、原稿の修正や、原稿種類の変更を依頼したり、また掲載をお断りさせていただく場合がある。
- (3) 修正原稿は、編集委員会の指定した期日までに再提出をすること。

7. 抜き刷り

各投稿者に 50 部の抜き刷りを用意する。それ以上の数を希望の場合は、初校戻しの時に申し出ること（その場合の費用は個人負担となる）。

8. その他

掲載原稿の組版は、下記の通りとする。

- (1) A4 判、横組み
- (2) 書式・文字数
  - A. 研究論文：本文 1 段組 10 ポイント 45 字×37 行
  - B. 研究ノート：本文 2 段組 9 ポイント 23 字×40 行×2 段
  - C. 報告：本文 1 段組 10 ポイント 45 字×37 行
  - D. 翻訳・書評・資料紹介：本文 2 段組 9 ポイント 23 字×40 行×2 段

以 上 (2014.3)